

令和4年度の日本遺産事業の進捗状況

1. 情報発信・人材育成事業

- ①市ホームページで日本遺産関連情報を随時発信
- ②日本遺産ガイドンスセンター（栗代蔵・足袋蔵まちづくりミュージアム2階）の管理・運営（通年）
 - * 5月3日（火）～5月31日（火）に日本遺産認定5周年記念写真展を開催（来場者315人）
 - * 令和5年度以降のガイドンスセンターの管理・運営を検討中



行田市日本遺産認定5周年記念写真展実施風景

- ③令和4年4月16日に開催の「蔵めぐりまちあるき」で、足袋蔵保存活用コーディネーターの方々の協力を得て、日本遺産PR展示を実施



「蔵めぐりまちあるき」でのPR展示風景

- ④「日本遺産サミット in 下関」及び「日本遺産連盟令和4年度総会」への参加
*令和4年10月29・30日に山口県下関市等で開催予定の「日本遺産サミット in 下関」及び「日本遺産連盟令和4年度総会」に参加し、PR展示・パンフレット配布等を行う
- ⑤「日本遺産の日」記念イベントへの参加
*令和5年2月13日の「日本遺産の日」に合わせてその前後3日間に渡って東京都内(有楽町駅周辺)で開催される日本遺産PRイベントに参加し、PR展示・パンフレット配布等を行う
- ⑥「日本遺産巡回展示」の実施
*小・中学校等で「日本遺産巡回展示」を6月6日より実施中(各2週間以内、既に西中学校・桜ヶ丘小学校等8校で実施、今後北小学校・下忍小学校等12小・中学校で実施予定、一部の学校ではゲスト・ティーチャーとして授業も行う予定)



「日本遺産巡回展示」実施風景(埼玉中学校)

2. 普及啓発事業

- ①「日本遺産構成資産ガイドブック」の販売
*日本遺産ガイダンスセンター、郷土博物館、文化財保護課等で「日本遺産構成資産ガイドブック」の販売を行う(4~8月で12冊販売)
- ②日本遺産認定5周年記念クイズラリーの実施
*令和4年7月16日(土)~9月4日(日)に日本遺産にまつわるク

イズを構成資産に訪れて解いて行くクイズラリーを実施（参加者389名）（別添1参照）

- ③<新規>「日本遺産 足袋蔵のまち行田」のロゴ・マークを作成
*日本遺産認定5周年を記念してロゴ・マークを作成（別添2参照）

- ④テレビ行田等での日本遺産PR
*テレビ行田等で日本遺産の構成資産を訪ね歩くシリーズ番組『行田市の日本遺産探訪』の作成を8月より開始（9月より放映予定）

- ⑤「行田市の日本遺産をめぐる」の開催
*日本博補助金を活用し、令和4年10月20日、11月6・19・23日に非公開の構成資産の内部を見学したり、足袋づくり、藍染、コースター作り等の体験をしたりしながら構成資産を巡るツアーを開催予定



昨年度のツアー実施風景

- ⑥<新規>日本遺産講座の開催
*日本遺産認定5周年を記念して、令和5年10月22日（土）に「行田市の日本遺産ストーリーを学ぶ」を郷土博物館で開催予定
- ⑦他の日本遺産認定地との連携の促進
*近隣の日本遺産認定地で相互のPRパンフレット等を配付する（現在、館林市とパンフレットを相互配布中、他に足利市、桐生市、宇都宮市と協議中）

- *令和5年2月13日の「日本遺産の日」に合わせて日本遺産ガイドンスセンターで近隣の日本遺産認定地のミニPR展示の開催を検討中
- *来年度以降に関東圏内の日本遺産認定地を巡るスタンプラリー等が行えないか検討を行い、他の日本遺産認定地と協議する

3. 調査研究事業

①構成資産の詳細調査を実施

- *未調査の構成資産「イサミ・コーポレーション・スクール工場」のモルタル蔵1棟について、現況調査と実測図の作成を委託して実施中



「イサミ・コーポレーション・スクール工場」モルタル蔵調査風景

②地域活性化計画の検証と令和5年度以降の日本遺産事業計画の立案

- *日本遺産推進庁内検討委員会を立ち上げ、これまでの事業の総括を行うとともに、それを踏まえた令和5年度以降の日本遺産事業計画を立案中、年度末には文化庁に書類を提出、令和5年度初めに審査を受ける

③構成資産の追加認定に係る調査の実施

- *足袋蔵の可能性のある蔵や足袋商店関連の可能性のある歴史的建造物について、文献調査、聞きとり調査を随時実施中
- *構成資産にふさわしい文化財があるか精査を随時行い、追加認定の申請を行う

4. 公開活用のための整備に係る事業

①旧忍町信用組合店舗の管理・活用

- * 「Vert Café」を営業して子育て世代の活躍の場として活用（通年）
- * 「テアトルヴェール」の開催（10月7日（金）～11月7日（月））に行田市書道人連盟作品展を開催予定、その後も文化団体連合会等協力を得ながら、俳句、絵画、写真、絵手紙、障がい者アート等の展示会を数回開催する（各展示の期間は一月）。併せて、講演会、コンサート等の開催も検討する。



「テアトルヴェール」展示風景

②構成資産公開イベント等の開催

- * 令和5年2月13日の「日本遺産の日」に合わせて足袋蔵保存活用コーディネーターの方々の協力を得ながら、通常は非公開の構成資産を公開するとともに、そこで映像上映、展示会、ワークショップ等の開催が可能か検討中

③ふるさとづくり事業による構成資産活用の支援

- * ふるさとづくりA事業（構成資産等改修・活用）について、令和5年度の事業実施に向けて、事業者を公募し、事業実施に向けた相談等の支援を行う

④説明板の設置

- * 令和3年に構成資産に追加認定された「小林家住宅」に説明板を作成中



構成資産説明板

⑤インバウンド対応の説明板・案内板作成の検討

- * 日本遺産及び構成資産の適切な外国語説明の作成について調査・検討するとともに、コロナ対策などの補助金等を活用した外国語標記の説明板や案内板の作成・設置についても検討を行い、可能であれば作成・設置して行く

5. 日本遺産に関連する事業

①日本遺産関連の出前講座等の実施

- * 8月24日の持田公民館郷土史講座で「行田市の日本遺産ストーリー」について講演、今後も進修館高校等で講演予定

②文化財保存活用地域計画の作成

- * 令和4～6年度に作成を行う「行田市文化財保存活用地域計画」の中に日本遺産を位置づけ、今後の保存活用の方向性を明確にする。

③行田おもてなし観光局の観光振興事業との連携

- * 5月1日開催の「案内人と歩く足袋蔵めぐり」実施に講師として協力



「案内人と歩く足袋蔵めぐり」実施風景